

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	農地整備事業 【経営体育成基盤整備事業（国補）】		事業箇所	大月市 笹子町 黒野田内外	地区名	笹子	事業主体	山梨県																								
計画期間	当初計画 H30~R4	現計画 H30~R7	変更計画	H30~R10																												
総事業費	400 百万円	484 百万円	693 百万円																													
(1) 事業の概要				④特記事項（関連事業概要等） ・なし																												
①事業目的及び効果				⑤これまでの評価状況 ・なし																												
<p>本地区は大月市の西部に位置し、笹子川の河岸段丘沿いの国道20号沿線に分布する急峻な地形に農地が細長く点在している。主要作物は水稻や大豆類であるが、地区内の農地は狭小かつ不整地であるなど営農条件の不利地が多く、また高齢化・後継者不足等の課題から耕作放棄地の増加が深刻な状況である。</p> <p>今度、不整形な農地を効率的に利用するには、区画整理による担い手への農地集積・集約化を進めるとともに農業生産基盤整備を総合的に実施することで、生産性の向上と農業経営の安定化を進め、地域農業の持続的な発展を図るものである。</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 2,961千円/ha\geq810千円/ha*（※評価基準値）</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消</p>				②事業位置図等																												
②事業概要																																
③全体計画				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">現計画</td> <td>用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m</td> <td>区画整理 A = 0.4 ha</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 451 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>230 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">変更計画</td> <td>用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m</td> <td>区画整理 A = 0.4 ha</td> <td>用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> </tbody> </table>						令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m	区画整理 A = 0.4 ha	—	事業費 451 百万円		33 百万円	事業費 430 百万円		230 百万円	変更計画	用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m	区画整理 A = 0.4 ha	用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha	事業費 430 百万円		33 百万円	事業費 430 百万円		33 百万円
	令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降																													
現計画	用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m	区画整理 A = 0.4 ha	—																													
	事業費 451 百万円		33 百万円																													
	事業費 430 百万円		230 百万円																													
変更計画	用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m	区画整理 A = 0.4 ha	用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha																													
	事業費 430 百万円		33 百万円																													
	事業費 430 百万円		33 百万円																													
<p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">現計画</td> <td>用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m</td> <td>区画整理 A = 0.4 ha</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 451 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>230 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">変更計画</td> <td>用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m</td> <td>区画整理 A = 0.4 ha</td> <td>用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費 430 百万円</td> <td>33 百万円</td> </tr> </tbody> </table>					令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m	区画整理 A = 0.4 ha	—	事業費 451 百万円		33 百万円	事業費 430 百万円		230 百万円	変更計画	用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m	区画整理 A = 0.4 ha	用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha	事業費 430 百万円		33 百万円	事業費 430 百万円		33 百万円	<p>地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p> <p>0 2.5km 5km</p>				
	令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降																													
現計画	用排水路 L = 1,171 m 区画整理 A = 4.0 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,831 m	区画整理 A = 0.4 ha	—																													
	事業費 451 百万円		33 百万円																													
	事業費 430 百万円		230 百万円																													
変更計画	用排水路 L = 1,074 m 区画整理 A = 1.2 ha 鳥獣害防止施設 L = 6,150 m	区画整理 A = 0.4 ha	用排水路 L = 270 m 区画整理 A = 2.4 ha																													
	事業費 430 百万円		33 百万円																													
	事業費 430 百万円		33 百万円																													
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。																																

2.評価シート(1)

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

①地域・住民の意向状況

用排水路、区画整理の未着手路線について、早期の整備が求められている。

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

やまなし農業基本計画(令和6年1月策定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

(2) 評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点	変更計画時点
総事業費		400 百万円	693 百万円
工期		H30 ~ R4	H30 ~ R10
評価基準年		H29	R7
経済 効 率 性	費用	550 百万円	1,056 百万円
	建設費	550 百万円	1,056 百万円
	その他費用	百万円	百万円
	便益	838 百万円	1,454 百万円
	作物生産効果	512 百万円	1,029 百万円
	品質向上効果	36 百万円	61 百万円
	営農経費節減効果	215 百万円	260 百万円
	その他※	75 百万円	104 百万円
B/C		1.5	1.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、維持管理費節減効果、営農に係る走行経費節減効果、災害防止効果、国産農産物安定供給効果

(3) これまでの計画変更等の概要

・区画整理において、換地計画の合意形成に日数を要したため、計画期間を令和7年まで延長した。

・物価高騰や労務単価の上昇に起因する事業費の増。

当初 現計画
 事業費 400百万円 → 484百万円
 計画期間 3年延長

評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。
R7年度進捗率（現計画）100% → （実績）95.0% → （変更計画）73.0%

②進捗率実績が計画と相違している理由

担い手農業者の営農計画に合わせ多数の筆を集約するため、地域の合意形成や参入企業との調整に時間を要した。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用排水路	43 百万円 増	詳細設計により既設流末水路の断面不足が判明し、水路改修の延伸が必要になったことによる事業費の増。
区画整理	166 百万円 増	農業法人等の参入により、ほ場の区画を拡大したことで切盛土量が増加したことによる事業費の増。また、想定より転石や石礫が多く、その除去作業に要する事業費の増。
合 計	209 百万円の増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

計画路線について、合意が得られたことから計画的かつ効率的な実施に努め、工期を3年延長し令和10年度の完了を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

なし

（5）環境負荷等への配慮

なし

（6）コスト縮減の可能性

なし

（7）代替案立案の可能性

なし

（8）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）

残された路線については、地域からの整備要望も強く、安定的な用水の確保や農作業の効率化に必要な不可欠な整備であることから、事業を継続し、令和10年度の完了を予定している。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

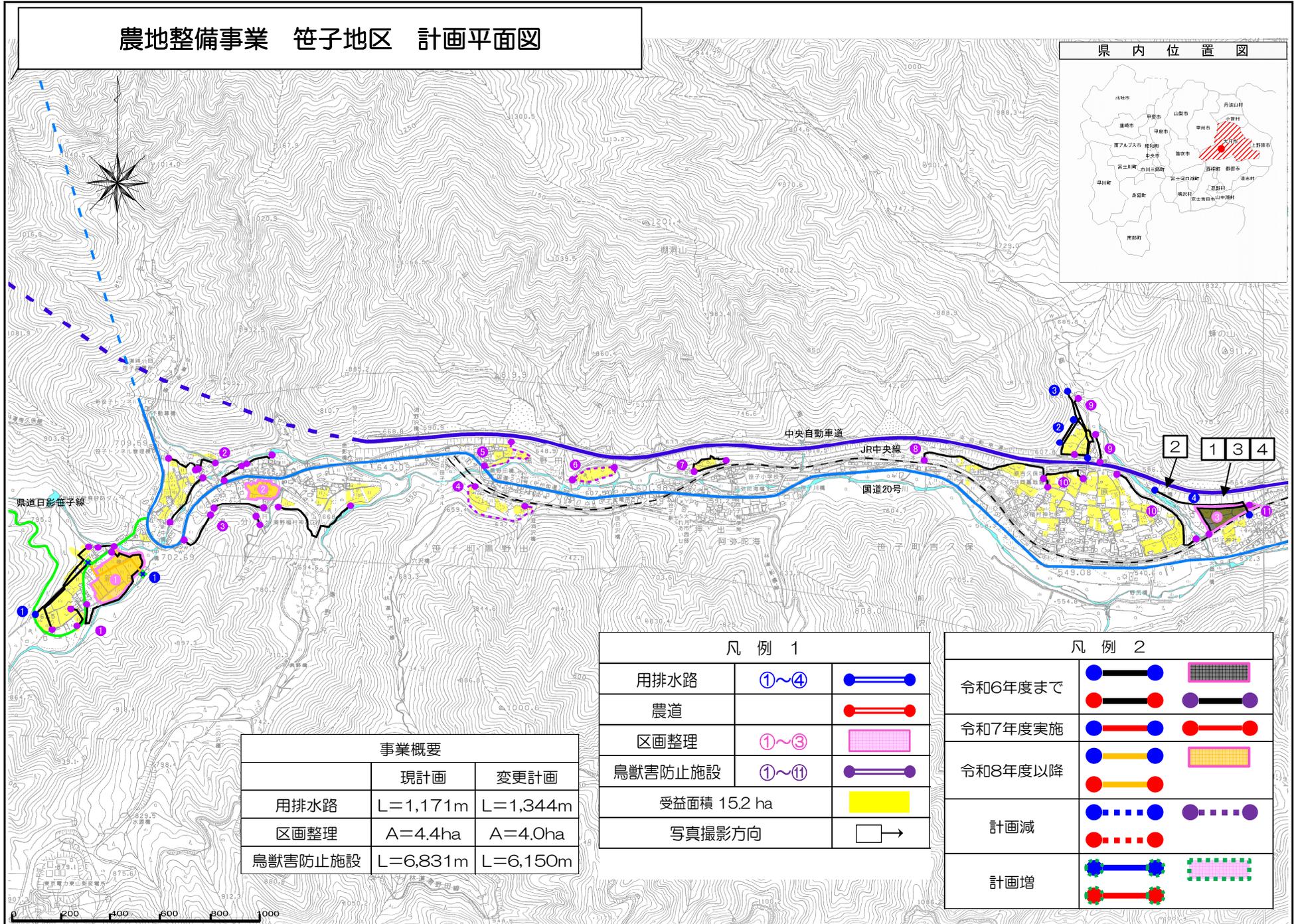
	年度	*H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10
現	計画	23.9	26.1	39.1	50.0	69.6	82.6	93.5	100.0			
	実績	22.7	24.8	37.2	47.5	66.1	78.5	88.8	95.0			
変更計画									73.0	85.7	98.4	100

*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

3. 添付資料シート(1)

農地整備事業 笹子地区 計画平面図



事業概要		
	現計画	変更計画
用排水路	L=1,171m	L=1,344m
区画整理	A=4.4ha	A=4.0ha
鳥獣害防止施設	L=6,831m	L=6,150m

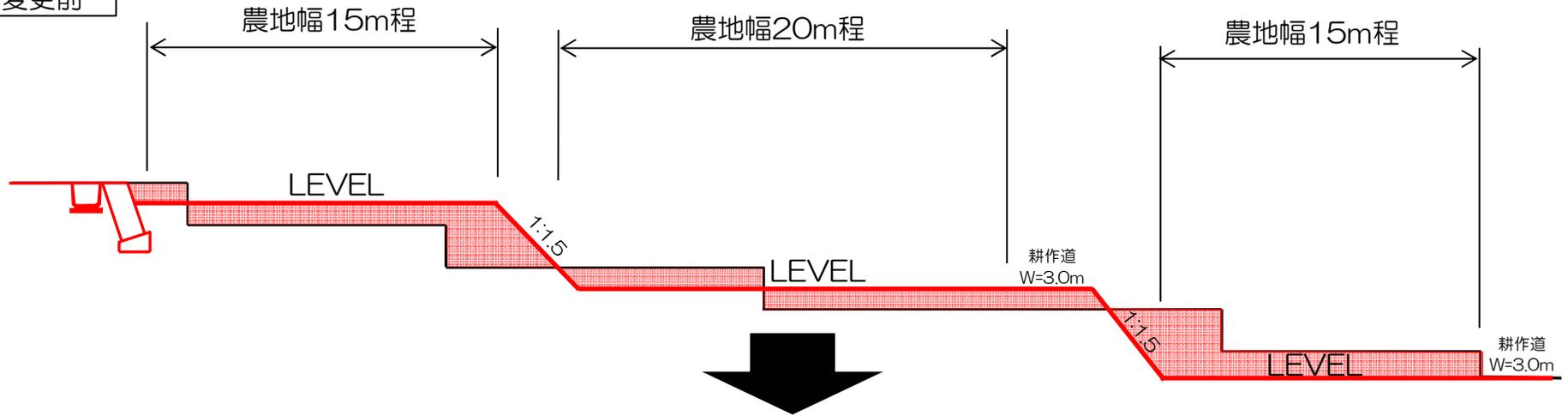
凡例 1		
用排水路	①~④	
農道		
区画整理	①~③	
鳥獣害防止施設	①~⑪	
受益面積 15.2 ha		
写真撮影方向		

凡例 2		
令和6年度まで		
令和7年度実施		
令和8年度以降		
計画減		
計画増		

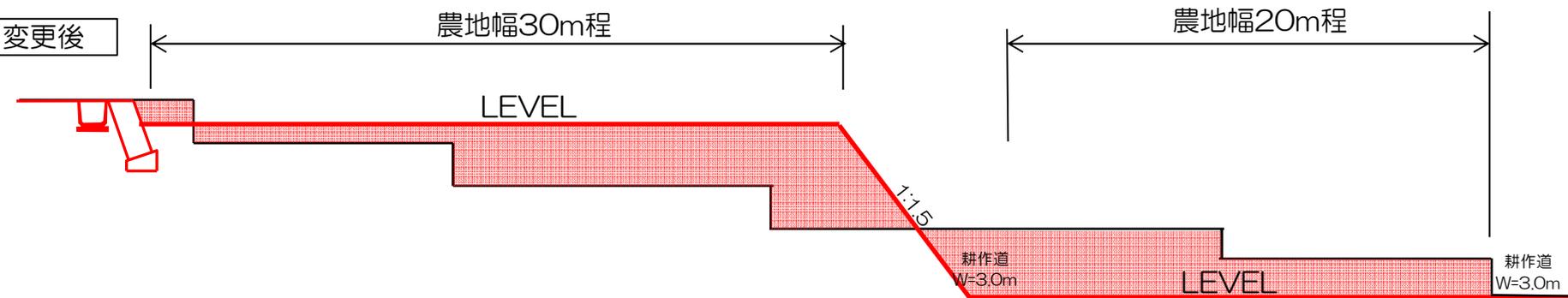
3. 添付資料シート (2)

1 区画整理の事業費増の理由

変更前



変更後



①生産法人等の参入により、ほ場の区画を拡大したことで切盛土量が増加したことによる事業費の増。

【上図参照】

②想定より転籍や石礫が多く、その除去作業が必要になったことによる事業費の増。

【右写真参照】



転石処理状況



石礫除去状況

3. 添付資料シート (3)

2 用排水路

整備前



水路の老朽化及び漏水の影響で安定した水利用が出来ず、営農・維持管理に支障をきたしていた。



整備後



水路を整備することにより、安定した用水供給が可能となり農作物の品質が向上されている。

3 区画整理

整備前



不整形かつ狭小な区画が多く、農業従事者の高齢化も進んでいるため、工区の大部分が耕作放棄地となっていた。



整備後



区画整理により農地を集約し、ほ場内農道も整備され、機械による作業が可能となるなど、営農環境が改善された。
今後、地区外の農業法人が工区の大半の農地を借り受け、果樹の作付けを予定している。

3. 添付資料シート (4)

4 区画整理

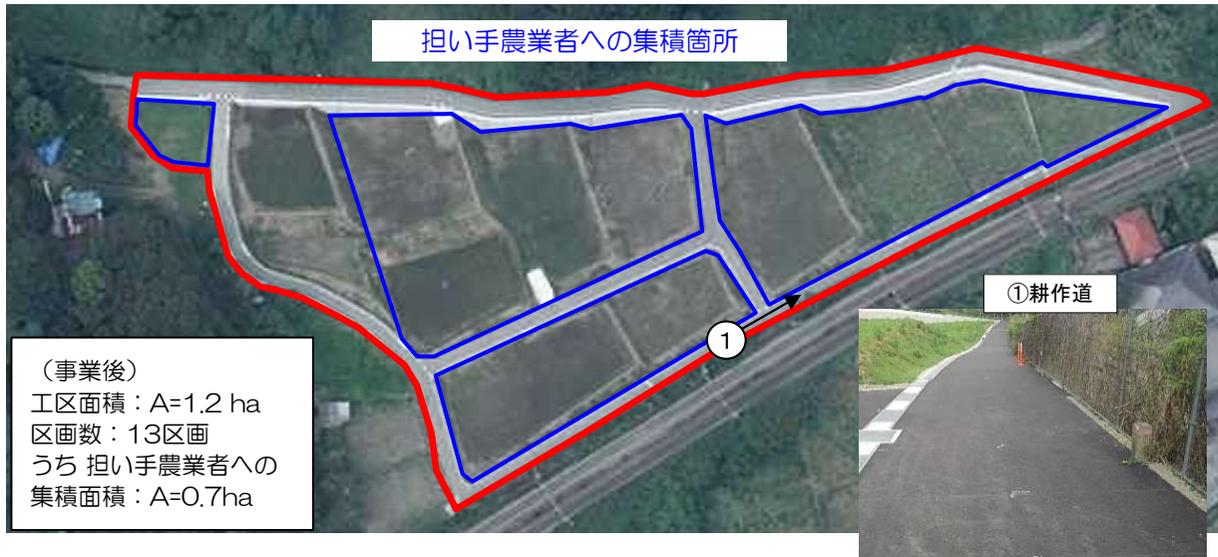
整備前



農地が小区画、不整形であり、耕作道も未整備で機械による農作業が困難であるなど作業効率が悪かった。



整備後



農地の集団化が進み、営農条件も改善されたことにより担い手農業者への農地集積が可能となった。



新たな担い手の果樹作付イメージ

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H30	121,000	用排水路 L=393m 鳥獣害防止施設 L=2,669m	17.5%
H31	11,000	鳥獣害防止施設 L=408m	19.0%
R2	66,000	用排水路 L=284m 鳥獣害防止施設 L=932m	28.6%
R3	55,000	区画整理 A=0.1ha 鳥獣害防止施設 L=1,360m	36.5%
R4	99,000	用排水路 L=210m 区画整理 A=0.9ha	50.8%
R5	66,000	用排水路 L=13m、区画整理 A=0.1ha 鳥獣害防止施設 L=781m	60.3%
R6	55,000	用排水路 L=174m	68.3%
R7	33,000	設計業務 一式	73.0%
R8	88,000	区画整理 A=1.9ha	85.7%
R9	88,000	区画整理 A=1.1ha 用排水路 L=270m	98.4%
R10	11,000	附帯工 一式	100.0%
合計	693,000		